

計画事業番号	00409	事務事業名	温暖化対策推進事業	担当部署	市民環境部環境課	電話	4111
--------	-------	-------	-----------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律第20条第2項 北広島市環境基本条例第20条				
事務事業開始年度	平成26年度	個別計画等	第2次北広島市環境基本計画(平成23年度～32年度) 北広島市地球温暖化対策実行計画(平成27年度～32年度)				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章)	美しい環境につつまれた安全なまち
	(第 1 節)	環境の保全
	(施策 1 )	地球環境の保全
2 対象	市民、事業者	
3 目的と内容	北広島市地球温暖化対策実行計画に基づき、市民及び事業者等が一丸となって地球温暖化防止に取り組み、二酸化炭素などの温室効果ガスの削減を図るため、イベント等を通じた普及啓発、省エネや環境配慮行動への誘導、高効率給湯暖房機等の設置費用の一部助成などを行う。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	○北広島環境ひろば(環境啓発イベント) ○節電キャンペーン(省エネ啓発) ○エコドライブ講習会の開催 ○平成28年度から事業を拡大し、高効率給湯暖房機やペレットストーブ等の設置に対する助成を実施。 高効率給湯暖房機(エコジョーズ、エコフィール等)～3万円×11件 ペレットストーブ～5万円×2件
	29年度	昨年度と同様、下記の事業を実施する。 ○北広島環境ひろば(環境啓発イベント) ○節電キャンペーン(省エネ啓発) ○エコドライブ講習会の開催 ○高効率給湯暖房機やペレットストーブ等の設置に対する助成 高効率給湯暖房機(エコジョーズ、エコフィール等)～3万円×20件 ペレットストーブ～5万円×6件 ○事業者向け融資制度案内

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
環境ひろばの開催 エコドライブ講習会の開催 高効率給湯暖房機等の設置に対する助成	環境ひろばの開催 (6月25日、500人) エコドライブ講習会の開催 (6人参加) 節電キャンペーン (105世帯参加) 高効率給湯暖房機等の設置に対する助成 (13件、430千円)	環境ひろばの開催 エコドライブ講習会の開催 温暖化対策事業の実施 高効率給湯暖房機等の設置に対する助成 事業者向け融資制度案内の実施	環境ひろばの開催 エコドライブ講習会の開催 温暖化対策事業の実施 高効率給湯暖房機等の設置に対する助成 事業者向け融資制度案内の実施	環境ひろばの開催 エコドライブ講習会の開催 温暖化対策事業の実施 高効率給湯暖房機等の設置に対する助成 事業者向け融資制度案内の実施	環境ひろばの開催 エコドライブ講習会の開催 温暖化対策事業の実施 高効率給湯暖房機等の設置に対する助成 事業者向け融資制度案内の実施	環境ひろばの開催 エコドライブ講習会の開催 温暖化対策事業の実施 高効率給湯暖房機等の設置に対する助成 事業者向け融資制度案内の実施	環境ひろばの開催 エコドライブ講習会の開催 温暖化対策事業の実施 高効率給湯暖房機等の設置に対する助成 事業者向け融資制度案内の実施

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	統合	温室効果ガス排出量を削減(地球温暖化対策実行計画の目標)に向けた普及啓発を行うとともに、平成28年度から実施した省エネや環境配慮行動を誘導する補助事業の効果を検証する。また、太陽光発電システム等設置支援事業と統合して総合的かつ効率的に推進することとしたい。		
2次評価	統合	太陽光発電システム等設置支援事業との効率的な推進を行うこと。		

**【事業費の推移】**

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			821		1,295		1,007		1,007	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		900		0		0	
		一般財源	821		395		1,007		1,007	
	① 合計	821		1,295		1,007		1,007		
額	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	4,200	0	4,200	0	4,200	0	4,200	0
総事業費①+④			5,021		5,495		5,207		5,207	

**【評価指標】**

指標名		単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
活動指標	①環境ひろば参集人員	目標値	800		800		800		800	
		実績値	500							
	②節電キャンペーン参加世帯数	目標値	150		150		150		150	
		実績値	105							
③エコドライブ講習会参加者数	目標値	6		6		6		6		
	実績値	6								
④高効率給湯暖房機・ペレットストーブ等の設置補助件数	目標値	8		26		13		13		
	実績値	13								
成果指標	①	目標値								
		実績値								
	②	目標値								
		実績値								
	③	目標値								
		実績値								

**【評価項目】**

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	温室効果ガスの排出の抑制等のための総合的かつ計画的な施策の策定・実施については、法に規定されている事務である。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	意識の啓発が主となっており、適正な目標の達成度合の数値化は困難であるが、省エネ行動などの動機付けや、地球環境を保全する意識を植え付けるための啓発が図られている。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	啓発事業については、より多くの方に参加して頂けるよう工夫する余地はある。また、昨年度開始の補助制度については、応募が当初予算を超えたことから、今年度も応募状況を検証していくこととする。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	市民の協力も頂きながら、必要最小限での運営を行っていることから、現在のコスト程度は必要である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--

## 付 表

## 補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 00409

&lt;継続用&gt;

## 【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市環境保全推進事業交付金（北広島環境ひろば）		
交付先の名称 及び代表者名	広島環境ひろば実行委員会 委員長 根岸 敏子	設立年	H19
構成員（団体）数	9名（3団体（北広島市生活学校、北広島市消費者協会、北広島商工会女性部））		（29年3月末現在）
交付先団体等の 活動目的	北広島環境ひろば事業の実施		
交付先団体等の 活動内容	北広島環境ひろば事業の実施に向けた準備や事業の運営		
事務局の状況 （28年度）	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況（28年度）	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

## 【交付先団体等の決算・予算の状況】

（単位：千円）

	区 分	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	備 考
収 入	本市補助・交付金の額（A）	340	340	340	
	団体拠出金	10	10	10	
	その他	5	5	5	
	繰越金				
	収 入 合 計（B）	355	355	355	
支 出	消耗品費	100	79	95	
	原材料費	43	50	55	
	役務費	2	3	2	
	講師謝礼	33	53	33	
	報償品	170	163	170	
	団体返戻金	7	7		
	支 出 合 計（C）	355	355	355	
繰越金	収入（B）－支出（C）	0	0	0	
全体支出に対する本市 補助・交付金の割合（A）÷（C）		96 %	96 %	96 %	
補助・交付金の対象経費（項目）		報償費、需用費、 役務費ほか	報償費、需用費、 役務費ほか	報償費、需用費、 役務費ほか	
補助・交付金の対象経費（金額）（D）		340	340	340	
対象経費に対する補助 または 交付金の割合（A）÷（D）		100 %	100 %	100 %	
補助・交付金の算出根拠		交付対象経費の金額（予算の範囲内）			